

# こんなことをします！（活動計画）

- ひまわり運営委員会 6月2日（月）  
月1回の開催でひまわり子ども支援活動の具体的な計画を協議・実行します。
- ボランティア研修会 6月14日（土）  
全ボランティアと全保護者を対象に月1回開催され、子どもの個性や特性の理解と支援の方法を研修します。
- 鶏と陸ガメのフェスティバル 6月11日（水）  
月1回、鶏と陸ガメを畑に開放します。鶏と陸ガメにとっては心待ちにしている日です。子ども達も動物とのふれあいに心が和みます。
- ヨガ教室 6月16日（月）  
ひまわりの専門部会「鍼灸、アロマ、ヨガ部会」が主体となって、近くの施設で月に1度ヨガ教室を開きます。ボランティアや保護者、子どもたちが参加しています（部外者参加可能）。



- ふれあいレストラン 6月28日（土）  
ひまわり版「こども食堂」です。フードバンクかながわさんから提供された食材を使用してボランティアと子ども達でランチを作り、会食します。6月のメニューは、カレー、スープ、カップケーキ、ひまわりサラダを予定しています。



## ボランティアの先生を紹介します

### 合坪 凜花先生

合坪先生は、大学1年生の女子学生です。先生が、ひまわりでボランティアをするきっかけは、かつて先生自身も不登校を経験しており、大学生になったのを契機に不登校で悩んでいる子ども達の役に立ちたいと思ったからだそうです。

お父さんの勤務の関係でオランダ生れ、オランダ育ちの合坪先生は、場面緘黙の子どもへの対応で成果を出すなど活躍をしてくれております。

今後は、ひまわりで子どもに親しみ易さを感じてもらう支援者を目指すことが目標だそうです。

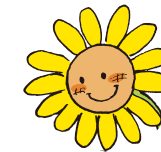
趣味は読書とアニメの他にアイドルグループ乃木坂46の追っかけだそうです。  
横浜市青葉区在住

### ひまわりの 現況

- 通学制 開校日：月・水・金・土 / 10時～14時30分（ひまわり学園 9:00～12:10）
- 通信制 オンラインを通してゲームから学習支援までひまわり目線の支援を行います。支援時間と内容は、本人と相談の上で行います。
- 現況 生徒数：（約）60名 / ボランティア：（約）20名  
時程：9時開門（学習）、12時10分昼食（食後レク）、12時55分（校長タイム）、
- 内容 1時20分（フィールドタイム）、2時半（帰りの会）（下校）

みどりの学校ひまわり／〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台80 問い合わせ先 090-9201-3992（渡辺）

ボランティアスクール  
「横浜みどりの学校ひまわり」



# ふれあい

学校だより 2025年6月号 No.71

こんな学校があってもいいかも  
（既存の教育にとらわれない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、14年前に開設されました。

## 「厳格」と「妥協」

— 2つの狭間で苦悩する子ども達 —

校長 渡辺 正彦

その日の午後のフィールド活動は、近隣公園でのドッチボール大会でした。活動の目的はドッチボールを皆で協力してやることを通してのソーシャルスキルの構築です。

最初は和やかに進んでいたドッチボールでしたが、あることをきっかけに空気が変わりました。小2の子どもがラインを踏んでボールを投げたことに対して同じチームの高学年の子どもが、「ルール違反」を指摘したのです。これに対して相手チームの中学生から「小2なんだからそのくらいはいいよ」と寛大な声が返ってきました。小学生、中学生の異学年混合での活動の素晴らしさに目を細めていると事態は急速に悪化しました。

ルール違反を指摘した子どもと容認した子ども達の間で論争に発展してしまいました。

厳格派對妥協（容認）派の対立の中で孤立無援の厳格派の子どもは、やがてパニックになり、「ルール違反を指摘した自分がなぜ皆から責められるのだ」「正しい主張がなぜ受け入れられないのか」と泣き叫びました。

やがてパニックからクールダウンした子どもは、自分の指摘したことの正しさを繰り返して訴えながらも結果的に多くの友達を敵に回してしまったことに深い絶望感に苛まれておりました。パニック時の強い自己主張の反動としてクールダウン時の空虚さが皆自己肯定感の急速な低下に繋がり、「自分は生きる価値がない」などと自己否定を来すこともあるので、クールダウン時のアフターケアは重要になってきます。

一部の子どもの思考や行動が厳格な原因は、完璧主義や白黒思考に起因することの他にシングルフォーカスや類推力、総合力の欠如といった子ども自身の個性によるところも大きいように思います。

本校では、このような子どもに対して、子どもの行動を予測しての事前のロールプレイング学習や子ども間で疑問や不満が生じた時に解決が困難な場合はまず近くの支援者に申し出るなどきめ細かな行動パターンをルール化して子ども支援にあたるようにしております。



屋根裏部屋に集う仲間達

# こんなことしました！（活動報告）

## ひまわりお花見会

4月5日（土）十日市場公園で毎年恒例のお花見会を行いました。父母やボランティアなど約40人が参加しました。

子ども達は大縄跳びやフリスビーなどのスポーツを楽しんでいました。



## 鶏と亀のフェスティバル

5月16日（金）鶏と亀を小屋から出して自由に過ごさせる「鶏と亀のフェスティバル」を行いました。

鶏や亀は自由に歩き回り、だっこされてました。動物が大好きな子ども達はとても楽しんでいました。

今後も月1回行う予定です。



## トイレを改修しました

不評だったトイレを校長と子ども達で見事に「美トイレ」に改修しました。トイレ改修日を「ひまわりトイレ記念日」に制定しました。「自分たちの生活環境向上は、まず自分たちの手で」を実践しました。「金のかからない教育」の具現化でもあります。



## 学校で悩んでいる子どもを応援します

人間関係が苦手、学校が合わない、不登校気味、学力不振、学習に集中できないなどの子どもたちを積極的に支援します。支援者は現役教師、塾指導者、臨床心理士など様々です。それぞれの専門分野から子どもに合った支援をします。活動費として月1000円から3000円で運営しています。体験期間の2週間は無料です。

お問い合わせは TEL 090-9201-3992 渡辺まで



本校の事業は、赤い羽根共同募金を財源とした青葉区社会福祉協議会の「あおばふれあい助成金」の配分を受けて活動しています。



## 防災訓練

5月9日（金）地震と火災を想定した防災訓練を行いました。火災が起きた時にすべき対応や非常口の使い方などを子どもたちとボランティアで確認しました。

また最近おきた小学校侵入事件を受けて、不審者侵入対応訓練が急遽追加されました。



## 農園だより

大豊作のイチゴとインゲンの収穫も一段落して、夏野菜の植え付けと育成に汗を流しました。

新玉ねぎ、ニンニクは収穫期を迎えております。陸ガメの「チャップル君」は、初夏を迎えて食欲が増進してきました。ウコッケイ達も元気に叫び声を競っております。初夏のひまわり農場は「人間と動物のパラダイス」です。



## オルタナティブスクールの設立へ

個性的な子どもの支援や教育に特化した教育機関である「ひまわりオルタナティブスクール」の7月開校を目指して準備が急ピッチで進んでおります。

「ひまわりオルタナティブスクール」は、①基礎学力の充実 ②興味・関心分野の追及 ③ソーシャルスキルの構築を3本柱とする「新たな学校」です。既存の学校と協力、連携する中で、偉大な能力と可能性を秘めたマイノリティの子ども達の支援と教育にあたります。

スクール設立に興味のある方、入学を希望する方は本校に問い合わせください。



## ひまわりでは ボランティアを募集しています

活動日 月・水・金・土曜日 午前10時～午後2時30分  
（週1回、午前・午後だけでも可能）

活動内容 ●子どもの見守り ●学習指導 ●支援金事務  
●農作業 ●にわとりの世話  
●保護者や子どものカウンセリング その他

学習指導の様子



お問い合わせ先 TEL 090-9201-3992 渡辺

HPからも  
問い合わせ可

